



フォレスト

ポーラ・オルビスグループ 生物多様性の方針

ポーラ・オルビスグループは、自然の貴重な恵みと自然の一部である自分を尊重しながら、高い美意識をもって環境に配慮し、かけがえのない自然の恩恵を大切に続けます。
そのためにも、生物多様性は重要であり、様々な生物が共存できる環境になるよう配慮した事業活動を行っていきます。事業と生物多様化の関わりを把握し、影響の低減に努めます。また、ポーラ・オルビスグループの生物多様性について情報を共有し、すべての従業員への啓蒙・教育を行い、社外へも情報を開示します。

生物多様性の取り組み

オルビス「甲州市・オルビスの森」の里山再生

2011年1月、オルビスは、甲州市や（公財）オイスカと甲州市里山創造推進協議会を設立し、「森林整備協定」を締結。山梨県甲州市の市有林約100haを「甲州市・オルビスの森」と名付け、10年計画で、オルビスの社員らが荒廃した森林の整備を行い、里山として再生するプロジェクトが2012年4月にスタートしました。
このプロジェクトは、森づくりだけではなく、その広大な土地全体を、人々が集い自然と親しむ里山として再生することが最終目的です。2018年12月には、オルビスの環境保全活動に対し日本政府から紺綬褒章（褒状）を授与、また2019年には、「甲州市・オルビスの森」を含む一帯が「甲武信ユネスコパーク」に認定され、2020年に地域環境の美化に大きく貢献したとして、環境省より「地域環境美化功績者表彰」を受賞しました。



ジュリーク 農園での生物多様性の取り組み

Jurliqueは自然の恵みを肌に届けるために、ひたむきに自然に向き合い取り組んできました。自社農園はブランドの原点であり、1985年の創業時から、私たちは「バイオダイナミック無農薬有機農法」を守り続けています。従業員一人ひとりが自社農場の大切さを分かち合い、環境の尊さに気付くため、2012年から毎年Tree Planting Dayを開催しています。毎年170人ほどの従業員が新しい木々を植え、過去に植林した木々の成長を観察することで、ビジネスの原点に立ち返り、気持ちを新たにモチベーションを高めるきっかけになります。
2020年は、コロナの影響で、例年どおりにイベントを開催できませんでしたが、苗木を社員に配り、社員が自宅で植林する「Tree Planting Day at Home」を開催しました。2021年は、本イベントが10周年のマイルストーンを迎えます。イベントを特別なものにするべく、グリーンチームが様々な準備をしています。





パーム油

ポーラ・オルビスグループ パーム油の方針・目標

ポーラ・オルビスグループは、化粧品の原料としてパーム油を使用しています。
生産地における生物多様性の保全および人権課題への対応を目的として、ポーラ・オルビスグループは2029年までの目標として、100%認証にし続けていくことはもちろん、Book&Claimでの購入から、認証パーム油の購入に順次切り替え、認証パーム油の比率を高めていきます。
ポーラ・オルビスグループは、2019年10月にRSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟しました。

ポーラ・オルビスグループ サステナブルなパーム油の管理体制

CSR委員長(ポーラ・オルビスホールディングス取締役)の管轄のもと、ポーラ・オルビスホールディングス CSR事務局長が責任者となり、コーポレートコミュニケーション室サステナビリティ統括チームがセントラルオフィスとして、パーム油について全体統括をしています。購買・製造を行っているポーラ化成工業の袋井工場、購買部がパーム油について管理を行っています。

サステナブルなパーム油の実績

ポーラ・オルビスグループは2021年1月にRSPOサプライチェーン認証を取得しました。
また2019年よりBook&Claimで2019年は1100t、2020年は1900t分の購入を行っています。
これらは当グループにおける年間のパーム油の使用量に相当します。

サステナブルなパーム油に関する苦情

ポーラ・オルビスグループお取引先ホットラインで苦情を受け付けています。
2019年、2020年におけるパーム油に関する苦情は0件でした。

サステナブルなパーム油の教育・啓蒙

ポーラ・オルビスグループでは、人権についての学習をeラーニングで実施しており、その中にパーム油についても学習しています。
また実際に、認証パーム油を取り扱う従業員や管掌部門の役員・メンバーにRSPOのトレーニングを行っており、パーム油の社会的な課題や、取り扱い方についてまで学習をしています。

サステナブルなパーム油についてステークホルダーとの協業

2018年には経済人コー円卓会議日本委員会（CRT日本委員会）が主催するステークホルダーエンゲージメントプログラムでマレーシアに行き、パーム油小規模農園でダイアログをしました。RSPOの担当者等有識者とのダイアログに参加し、理解を深めました。



©2018 Caux Round Table Japan



紙資源

ポーラ・オルビスグループ紙資源の方針

ポーラ・オルビスグループでは、紙資源の使用量削減をしていくとともに、紙を使用する際は、サステナブルな紙を使用していきます。まずは、商品の包装やカタログで使用する紙を森林保全に配慮した紙に切り替えることから始めていきます。

サステナブルな紙資源の取り組み

ポーラのB.Aブランドでは、製品の外箱を森林認証紙にしています。また、オルビスでは、カタログに、適切に管理されている森林の木材を使用した紙として認証を受けている「FSC認証紙」を使用しています。